

オレ・オラスタジアム

2017年新年号  
発行：FC ムサシ  
http://ole-musashi.com/  
パス：musashi

## あけましておめでとうございます。

新しい年が始まりました。今年も、ムサシのサッカーは、仲間と楽しくプレーしながら、「取り組む姿勢」「協調性」「自主性」など人間的にも成長できる場でありたいと考えています。



ものごとの習得には個人差があります。サッカーも同様で、すぐに習得できる子どももいれば時間がかかる子もいます。習得に時間がかかったとしても、内容を理解してしっかり取得してこそ、単なる知識ではなく経験となり様々な場面で応用して実践できるようになるのだと思います。一年の初めに、去年を振り返り、目標をたてた人も多いかと思えます。自分で立てた目標に向かって、あきらめずに継続していくこと、努力することを忘れずにやっていきましょう。

ご父母の方々も、上達、習得の早さにとらわれず、子供たちの成長過程を見守りながら楽しんでいただけたらと思います。

スタッフ一同、子供たちの目に見えにくい努力も見逃さず、成長できるよう取り組んでいきたいと思っています。今年もよろしくお願いいたします。

スーパーバイザー 水島武蔵

# サッカークラブワールドカップ2016



12月8日から18日までの10日間、日本でクラブワールドカップが行われました。

ワールドカップは4年に1度、209の国と地域からチャンピオンを決めますが、クラブワールドカップは全世界の30万を超えるクラブチームの中からチャンピオンを決める大会です。各大陸チャンピオンクラブの6チームと開催国からの1チームで争われ、今大会は日本で開催の為にJリーグ王者の鹿島アントラーズが開催国枠で出場しました。

鹿島は堅い組織的な守備と「献身・誠実・尊重」を徹底的に根付かせたジーコスピリットで、世界を驚かす準優勝という結果を収めました。特に決勝は素晴らしく、世界のスター選手で構成されるレアルマドリード相手にも貪欲に勝ちに行く姿勢を見せ続け、歴史的勝利まであともう少しというところまで世界王者を追い込みました。後半22分にフアブリシオ選手が投入されるまでは全員日本人選手で闘っていたことも、日本サッカーのレベルが確実に世界レベルに近づいていることを示してくれました。

一方で、世界レベルを見せつけられるシーンがたくさんありました。コーチ達の会話にも上がったのが、「個」の止める・蹴るという基本スキルの質の高さ。クロス選手のどんなボールでも蹴りやすい場所に持っていくコントロールの正確さ、ドリッチ選手の一寸も狂わない右足アウトサイドパスの正確さ、2016年W杯で日本を苦しめ得点王にもなったハメスロドリゲス選手がベンチを温めるという選手層の厚さ、そして何よりシュート性のボールを足元にピタリと止め、こころ一番で決めてしまうクリスティアーノロナウド選手。一瞬の隙があれば点を取ってしまう力を目の当たりにし、まだまだ世界レベルには簡単に追いつかないと感じました。

決勝は横浜で行われた為、スタジアムで観戦してきた子も何人かいたようです。また、テレビ観戦して白熱した試合にくぎ付けになった子も多かったのではないのでしょうか。コーチからいつも掛けられている「諦めない！」「広がってパスをもらおう！」「切り替えを早くしよう！」といった言葉の意味を、この試合を通して学ぶ機会にもなったのではないかと思います。

「一流に触れること」で子供は自分なりに感じ、学び、真似し、自分に取り入れていきます。ムサシの練習の中でも試合中のコーチのプレーを良く観察していて、いつの間にか自分のプレーにしているというシーンもたくさん見受けられます。皆さんの家の近くにも、日産スタジアム、等々力競技場、湘南BMWスタジアム、ニッパツ三ツ沢球技場など、プロの試合を間近で見られる場所がたくさんあります。家族でスタジアムに足を運んで試合観戦や、子供と一緒にテレビ観戦することもオススメです！

## ムサシコーチがみたクラブワールドカップ ～ジーコが残した鹿島アントラーズ「勝者のメンタリティ」～

鹿島アントラーズには、ジーコの残した勝者のメンタリティに代表されるスピリットがしっかりと受け継がれ、クラブのアイデンティティとなっていることが試合にあふれていた。

アントラーズ創設時、ジーコは選手としてプレーするだけでなくクラブ全体へのアドバイスをし、クラブのアイデンティティを築いていった。ブラジルというと、派手なパフォーマンスでゴールを狙うプレースタイルというイメージがある中、ジーコが求めたのは献身的な守備と積極的な攻撃。そして、どんな些細なことであっても勝負となれば、負けることを考えずに戦う「勝者のメンタリティ」。

10数年ほど前、ジーコとスタッフゲームやエキシビジョンマッチで戦った際、肌でその勝負へのこだわりを感じた。エキシビジョンマッチといえば、やや手加減したプレーも当たり前で厳しくボールを取りに行くといったプレーはあまりしないものだが、ジーコは勝負へのこだわりのないプレーを許さなかった。

また、ジーコは、ピッチの外でもだらしない服装や行動をゆるさず、移動の際のシャツの色を統一するなど、些細なことまで徹底的に変革していった。

Jリーグ創設から四半世紀、その間には選手も若い世代に変わってきているが、スタイルや規律を簡単に変えることなく継続してきたことがクラブとして良い歴史となり強みとなっている。

水島武蔵

けり友や家族と  
一緒に**自主トレ!**

## コピードリブル(まねっこドリブル)

前の人をまねてドリブルしてみよう。前の人のが右足でフレーキしたら右足でフレーキ。左に切り返したら、左に切り返す。ゆっくりしたドリブルやフレーキから始めて、慣れてきたら徐々にスピードアップ!「しっかり見ること」が大事だよ。

ステップ1:まっすぐドリブル。  
ポイント★丁寧にやることを意識しよう

ステップ2:ドリブルからフレーキ  
ポイント★ボールと前の人、両方を見よう

ステップ3:ドリブルから切り返し  
ポイント★足の内側を使ってみよう

ステップ4:  
自由にいろいろと  
試してみよう



上級編:向かい合って、鏡のように動きをまねしよう。

番外編:ネイマール選手や宇佐美選手など、ドリブルの上手な選手の動画を見てまねしてみよう。



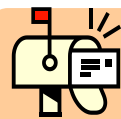
## 幼児クラスも好タイムが!タイムトライアル!

小学生に続き11月には幼児クラスでタイムトライアルを行いました。

年中、年長とからだがかたやバランスが全体的に良くなってきています。その結果がタイムトライアルにも現れていました。

タイムトライアルの結果が全てではありませんが、自分の成長の記録として、継続して見ていってください。次の学年に向けて、がんばっていきましょう!

\*タイムトライアルは、全学年終了しました。



コーチからの年賀状は届きましたか?届かなかった、住所が違っていた、という人はコーチに教えてね。



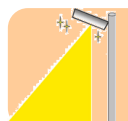
天候の急変(警報の発令など)、交通規制などにより、やむおえず練習が中止となる場合があります。その際は事務所に確認ください。



インフルエンザなどで学級閉鎖になった際は、参加の可否のご連絡や、練習の有無などについて事務所までお問い合わせをお願いします。



3月は、年会費の引き落とし月です。  
4月分の月会費と一緒に引き落としになりますので  
ご注意ください。



練習後は寄り道せずにお友達とまっすぐ家に帰りましょう。  
自転車で来ている子は、ライトを必ず点けようね。



忘れ物が増えています。持ち物には、必ず名前を書き、忘れ物のないよう注意しよう!



3月に卒業セレモニーを行います。  
6年生のみんな!!最後まで休まずがんばろう!